

# ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会ニュース

NO. 8 2018年8月29日 ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

## 《自治体訪問特集》

### ◆旭川市教育委員会を訪問

8月1日、道教組の新保、上川教組の中村賢明委員長、中村哲也書記長の3名で教育条件整備、教職員の働き方改善の要請・懇談で、旭川市教育委員会を訪問しました。対応していただいたのは、野崎学校教育部長、他担当者です。

最初、教育条件整備のために国・北海道・旭川市への要請内容の概要をお話し、野崎教育部長から何



左から3人目が野崎学校教育部長、右の2人が上川教組点か回答がありました。

「平成27年から小学校3・4年生に少人数学級を実施しています。小1・2の少人数学級を3・4年でも続けたいので。学校統廃合問題については、地域との話し合いを持って考える。その場合（機械的ではなく）地域との合意が必要。市長も子育て支援部をつくり、教育を重視しているが、十分な予算が確保できていない。国や道には要請したい。働き方改善のため、市としてもプランをつくっていかうとしています」などと述べました。

### ◆苫小牧市教育委員会を訪問

8月9日、道教組の新保、全教いぶりの高橋委員長、渋谷執行委員の3名で苫小牧市教育委員会を訪

和野幸夫教育長が対応してくれました。

割振り変更問題では対象業務が11項目あり、管理職から適切な説明がされているのかどうか？との話に。教育長からは「教職員は、朝の交通安全指導の短時間の割振り変更でも面  
倒くさが



左から高橋委員長、渋谷執行委員、和野教育長

らず申請してとるようにしてほしい。他の町と同じで、毎年100人以上の児童生徒が減少しています。耐震化はなんとか93%までできました」などと語りました。最後に、教職員の働き方改善についても話題にし、改善を求めました。

### ◆釧路市教育委員会を訪問

8月9日、道教組の新保、釧路市藤田支部長の2名で釧路市教育委員会を訪問し、岡部義孝教育長が対応してくれました。



左から岡部教育長、高玉学校教育部長

教育長からは、「全道協議会の役員をしていて、都市教委連でも教育条件整備の要望を話し合っています。教育には時間がかかり、最後は人が社会をつくる。釧路市アクションプランをつくらなければならない。課題はどこにあるのか現場から上げてもらい、さらに改善策をつくりたい」と語りました。